

## 「つながる力」に関する児童生徒評価表 I (記入例)

学部・学年		○学部△年	作成日	平成◎年□月×日
氏名	実 態	ねがい・期待する姿 (関連する項目)		
		方針・手立て		
児童A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動は活発で積極的</li> <li>・自分本位な判断で行動しがち</li> <li>・発語があり, 指示理解力あり</li> <li>・相手の様子を見て考える力を付け, 場に合った言動ができることにつなげたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の指さしや視線等を見て, 何かを自分に伝えようとしていることや, 何を伝えようとしているか分かるようになってほしい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(B-I 他者の様子や表情を見て, 相手の気持ちに気付く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型はめ・絵合わせ学習等において, 自分のもつ選択肢の中から, 相手が要求または指示するものに合わせる学習を積み重ね, 相手の意図を意識する習慣を形成する。</li> <li>・直接指示を極力減らし, 促しやきっかけとなる質問等を工夫するとともに指さしや表情, 視線等ですべき行動等に気付けるようにする。</li> </ul>		
		生徒B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感が低く, 大人に頼る傾向が強い。</li> <li>・本来もっている力を十分に発揮できないままている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の得意なことが分かるようになってほしい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(A-II 自分の得意なことが分かる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人に頼らず, 自分の力で学習に取り組めるような場面を意図的に設定したり, 環境を工夫したりすることで, できたという成功体験を増やしていく。</li> <li>・係活動など一人で取り組めたときには, 十分に称賛する。</li> </ul>

## 「つながる力」に関する児童生徒評価表 II (記入例)

学部・学年		○学部△年	評価日	平成◎年◇月☆日
氏名	「つながる力」を発揮する姿			考 察
	児童A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が無言で指さした物と同じ物を選んで合わせることができた。</li> <li>・教師が視線を向けた物に気付いて, 同じ物を選んで合わせることができた。</li> <li>・相手の表情や視線の動きを見ることが増えてきた。</li> <li>・教師の行動を見て, 自分から模倣しようとするが増えてきた。</li> </ul>		
生徒B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動など, 毎日取り組んでいる活動はほぼ一人でできるようになった。</li> <li>・難しい課題に対して, 教師が手伝おうとすると, 「自分でやる」といって挑戦するようになった。</li> <li>・得意なことを聞かれると, 「○○ができます」と良い表情で答えるようになった。</li> </ul>		